

第2回

地球温暖化対策～今、私たちにできること

家庭でできる取り組みを考える

現在、地球温暖化が大きな問題となっています。地球の温暖化を一人ひとりが自分のことと考え、みんなで温暖化対策に取り組むことが求められています。

すぐできる10の取り組み

私たちの生活を見直し、二酸化炭素の排出を減らすためにはどうすればいいのでしょうか。今月号では、家庭でできる取り組みをご紹介します。

家庭で行う温暖化対策は、省エネ・省資源など家計費の節減につながるものもありますので、できるものから始めてみましょう。（環境省「身近な温暖化対策」より）

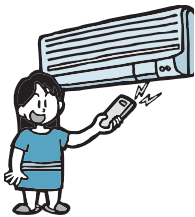
なお、ここでは、年間の二酸化炭素排出削減量および年間の節約金額を算出するため、あえて具体的な目標数値を設定していません。

4月号でもお知らせします

だが、音更町の1世帯当たりの温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）は、2004年で6・3tです。

冷房の温度を1度高く、暖房の温度を1度低く設定

カーテンを利用して太陽光の入射を調整したり、クールビズやウォームビズを取り入れることで、冷暖房の設定温度を工夫して過こしましょう。



年間約33kgのCO₂の削減
年間約1800円の節約
週2日、往復8kmの車の運転をやめる

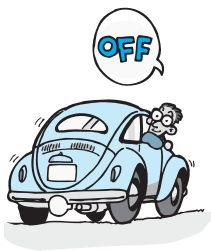
通勤や買い物ときは、バスや鉄道、自転車を利用しましょう。歩いたり自転車を使う方が健康にもいいですよ。



年間約184kgのCO₂の削減

年間約9200円の節約
1日5分のアイドリングストップを行なう

駐車や長時間停車する時は、車のエンジンを切りましょう。大気汚染物質の排出削減にも役立ちます。



年間約39kgのCO₂の削減
年間約1900円の節約

待機電力を50%削減する
主電源を切りましょう。長時間使わないときは、コンセントを抜きましょう。また、家電製品を買い替えのときは、待機電力の少ないものを選びましょう。



待機電力とは、多くの家電機器は、電源をOFFにしても、スイッチを押せばすぐ使えるように、常時、待機時消費電力（待機電力）と呼ばれる微量の電気が流れています。この待機電力は、家庭の消費電力の1割を占めています。
年間約60kgのCO₂の削減
年間約3400円の節約

シャワーを1日1分、家族全員が減らす

身体を洗っているあいだ、お湯を流しっぱなしにしない

